

そろそろインフルエンザの時期です ☹️

インフルエンザに感染すると…



※ワクチンを打っている場合など、高熱や症状が出ない時もあります。
なにかいつもと違うな?と感じたら検査されることをおすすめします。

今年は重症化に要注意!

昨年度はインフルエンザが流行することなく、例年の0.1%未満の感染者数だったそうです。新型コロナウイルス対策でのマスク着用・手洗いの徹底、ソーシャルディスタンス、国際的な人の移動の減少などの要素が大きかったのではないのでしょうか。昨年一昨年と流行の規模が明らかに小さく感染者が少なかったため、社会全体のインフルエンザに対する集団免疫が低下していることも指摘されていて、これにより今冬の流行の拡大につながる可能性もあると考えられています。

インフルエンザに対する抗体を持たない乳幼児が、もしインフルエンザに罹患したら…。乳幼児がインフルエンザにかかると、高熱で脱水のリスクや、稀にインフルエンザ脳症等の合併症を起こすこともあります。左記の症状がある場合は、早めの受診で重症化を防ぎましょう。

Q. インフルエンザの予防接種の時期は?

A. 接種後、実際に効果を発揮するまでに約2週間かかるため、インフルエンザが流行する(12月中旬まで)に接種を終えることが効果的

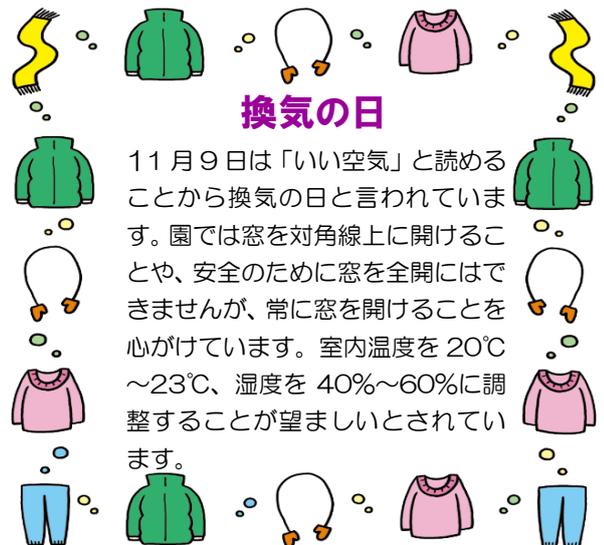
[厚生労働省参照]

生後6カ月から12歳以下が2~4週間空けて2回接種、13歳以上が1回接種となります。

インフルエンザの流行は12月下旬から3月上旬が中心になりますが、近年は流行時期が早まっている傾向にあり、早めのワクチン接種を検討してもよさそうです。なお、効果は約4~6カ月あるので、早めの接種でも問題ありません。

ちなみに、厚生労働省からは『今年は過去5年で最大量(最大約6300万人分)のワクチンを供給予定』と発表されています。

接種に関しては一度かかりつけ医に相談するのが良いかと思います。



昭和ナースリー10月の感染症報告

- ヘルパンギーナ 1名 (ひよこ)
- 手足口病 1名 (ひよこ)
- 新型コロナウイルス感染症 1名 (うさぎ)